

No.1063(2010年1月1日号)から
No.1086(2010年11月15日)まで

No.1063 (2010年1月1日)

◇巻頭言◇ 資本主義と社会主義

旧向坂邸「解体工事」始まる

— 〇九年十二月七日から一〇年一月三十一日 —

「官製ワーキング・プアの闘い」

— おきたまユニオン「学校給食分会」解雇撤回の闘いから —

国鉄闘争の現状と今後の展開について

民主党政権にどう立ち向かうのか

三池闘争五十年、向坂逸郎没二十五年の二〇一〇年

— 今こそ存在感ある労働運動の創造と社会主義の魂の復活を —

読者からのおたより

原野人

編集部

福田 政一

川端 一男

スクラムユニオン・広島

稲村 守

No.1064 (2010年1月15日)

◇巻頭言◇ 阪神淡路大震災から十五年 — 私の活動 —

三つの活動を考え実践しています — A君からの手紙 —

「この道、一筋」やりがいのある時代

読書とは「考える」こと

資本主義を暴露する — 「恐慌」下の労働運動について —

教育公務員の人生、仕事の名誉回復を

— 「分限免職」取り消し裁判の「陳述書」から —

二〇一〇年予算 鳩山政権第二幕へ

読者からのおたより

小林 るみ子

松枝 佳宏

稲村 守

丸江 麗

増田 都子

滝野 忠

No.1065 (2010年2月1日)

◇巻頭言◇ 再び「政治とカネ」問題浮上

民主党と労働組合 — 蜜月(ハネムーン)の背後で —

◇投稿◇ひどい職場がつくられた

— 「意識づくり、点検活動めざす」年金機構移行で —

労働戦線再編から二〇年 — 今、労働運動は(上) —

キシミ増大、民主党のゆくえ

向坂逸郎記念国際交流館 — 工事始まる 九月完成 —

「日米同盟のあり方」で民主を挑発 — 二〇一〇年元旦各紙「社説」から —

読者からのおたより

「JR不採用問題解決へ! 2・16中央集会」

日時 二〇一〇年二月十六日(火)午後六時三十分

場所 日比谷野外音楽堂

ねんきん機構労組組合員

滝野 忠

編集部

伊勢 太郎

編集部

No.1066 (二〇一〇年二月十五日)

山下 けいき

◇巻頭言◇ 国労闘争団・中野さんの意気を感じて

政府・国会へのアピール五四日間連続マラソンに参加

鳩山首相とオバマ大統領

経団連、全労連、全労協

―今、日本の労働運動は(下)―

◇資料と解説◇ 『10年版 経労委報告』について

◇資料◇ 正規、非正規社員の壁を崩す電機連合(「日本経済新聞」〇九・七・一二)

辺野古新基地に反対 東京で全国集会 六千人が決議採択

国民の交通権を守り、輸送の安全を守る要員の確保を

―JAL破たん 航空労組連絡会(声明)―

景気好転に確信が持てず、短期雇用が蔓延

―米国でも不安定雇用労働者拡大―

読者からのおたより

No.1067 (二〇一〇年三月一日)

◇巻頭言◇ ブレーキの機能

佐賀 章男

民主主義とほど遠い日本

西村 昭

―とくにひどい人権侵害―

労組組織率三四年ぶりに上昇

―アメリカはマイナスに―

一日もはやい 夢ある解決

杉山 智子

―2・16集会での家族の訴え―

いまこそ解決を!

―JR不採用問題 解決へ! 2・16集会「アピール」―

解決が見えてきた

―JR不採用問題での最近の動き―

譲れない原則 伝え続けたい

―国鉄闘争に思う―

普天間飛行場の閉鎖・全面返還を求める

―米海兵隊の長崎県内への移駐・移転を許さない共同声明―

原発に膨大な国家資金

杉森 ひろゆき

―東海村を視察―

大地震とハイチ

編集部

もう一歩前に進んで行動

西本 章

読者からのおたより

No. 1068 (二〇一〇年三月一五日)

◇巻頭言◇政府与党と公明党が「たたき台」

—一〇四七人問題に和解案—

滝野 忠

『脑梗塞』労災認定闘争

成田 勇三

—非正規パート社員 月間労働時間三五〇時間！—
—一〇四七人問題「解決」目前に—

全労協

「雇用も賃上げも」全力で闘おう

—派遣、非正規、外国人労働者と連帯し—
新社会党の参院選方針

「国鉄反マル生闘争勝利」四十年 —私たちはかくたたかう—

読者からのおたより
編集部だより

No. 1069 (二〇一〇年四月一日)

◇巻頭言◇ 欠陥だらけの派遣法改正案

杉森 弘之
花井 吉宅

元凶をつきとめ退治する

—「知・義・技」 危険思想とは—

春闘をかくたたかう —現代情勢のなかで—
非正規労働者の正社員化と均等待遇を求める

—日本郵政は日本一の非正規雇用企業—
欠ける権利、働く者のつながり

神戸ワーカーズユニオン

—ユニオンメンバー養成講座—

松里 福慈

国鉄闘争、石川議員、北教組
—北海道の動きから—

小林 晃

消費増税いよいよ浮上

編集部だより

No. 1070 (二〇一〇年四月一五日)

◇巻頭言◇ 10春闘 ストライキ宣言

郵政産業労働組合中央闘争委員会 郵政労働者ユニオン中央闘争委員会
日米軍事同盟は不要

講師 神田香織の講演！「哀しみの母子像」

「日本郵便非正規ユニオン」の結成とこれまでの闘い
生産性三原則に未来はない —十年春闘の結果から—

御手洗会長は金儲けだけの人だった
—日本経団連、政策評価廃止—

読者からのおたより

編集部だより

No. 1071 (二〇一〇年五月一日)

◇巻頭言◇ 労働運動はよみがえる | メーカーと現代労働情勢

滝野 忠

「八月政変」と現代世界

編集部

国鉄闘争 JR不採用問題が決着へ | 四者・四団体が解決案に見解発表 |

闘いの歴史に学ぶ

清水 豊

| 「国労」運動は何を未来に残すか |

見えない郵政労働運動

川越 後巳

| 労働者が労働組合に出会っているのか |

とけて流れる日本政治

伊勢 太郎

読者からのおたより

編集部だより

No. 1072 (二〇一〇年五月一五日)

◇巻頭言◇現代のドン・キホーテ

滝野 忠

鳩山首相は即辞任

「生きるために組織せよ」 | 兵庫・東京の仲間のたたかいから |

編集部

志ない新党結成

改憲ムードは後退 | 憲法記念日の社説から |

「マルクスの将軍」フリードリッヒ・エンゲルスの革命的生涯 |

| The Economist 誌書評より(二〇〇九年八月一五日) |

「解決案」を批准 | 国労臨時大会 |

抑止力も軍事的合理性もない沖縄・米軍海兵隊

稲村 守

| 沖縄タイムス・屋良編集兼論説委員が京都で訴え |

「みんなの話題」に「地球温暖化とエネルギー問題の虚構

永住外国人の地方参政権は認めるべきだ

山下 けいき

| 山下けいきの議会討論 |

読者からのおたより

編集部だより

No. 1073 (二〇一〇年六月一日)

◇巻頭言◇人・鶴巻当選し議席回復 | 新潟・三条市市議選

相田 邦夫

普天間基地はいらない!

若葉の季節に、元気の出る企画! | 国労三支部交流会 |

普天間「解決」の道

花井 吉宅

| 「憲法を生かす会」水戸での講演から |

行きすぎた市場原理 | 刑務所が労働市場に | 『貧困大国アメリカⅡ』から |

雇用解決まで手ゆるめない | 千葉県「国鉄まつり」報告 |

歳入減で、教師の首切りを迫られる学校 | ニューヨークタイムス

| 危機に瀕するアメリカ教育制度 |

年金機構の労務管理は「違法」 | 日本年金機構の問題点 |

若者の失業率はなぜ高い

滝野 忠

| 八時間労働制から四時間労働制へ |

読者からのおたより

No.1074 (二〇一〇年六月一五日)

◇巻頭言◇日本語で語れ

一〇四七名JR不採用問題解決未だ半ば
再均衡のとき

滝野 忠
小林 春彦
「エコノミスト」米国経済特集

―アメリカ経済の現状(上)―
えええりっ！労働福祉会館・労働センターがなくなる？

武庫川ユニオン

―尼崎市施策評価委員会が廃止を提言―

「小鳩」辞任報道の中で ―連合中央委員会から―

◇世界情勢への視点(一)◇

編集部

国際通貨危機とギリシヤ

読者からのおたより

No.1075 (二〇一〇年七月一日)

◇巻頭言◇「JR不採用事件」解決

国労名寄闘争団

永年の支援「ありがとうございました」

空者(うつけいもの) 辞任と管内閣

滝野 忠

資本主義的合理化反対と国労

編集部

―国労反合理化研究会から―

アメリカ製造業の復活はあるか

「エコノミスト」誌

―再均衡のとき(下)―

テニアンはアメリカの沖縄だ！

稲村 守

正社員への道

―郵政職場と格差の実態―

中国人研修生・技能実習生

土屋 信三

―U工場の実習生たち―

読者からのおたより

No.1076 (二〇一〇年七月一五日)

◇巻頭言◇「第三の道」批判

小林 晃

―菅政権の欺瞞性―

六月二八日 政治和解確定

紋別闘争団

―雇用の問題本格化へ―

未来志向の国労運動を考える

沖縄(ウチナー) 問われているのは私たち

毛利 孝雄

―沖縄平和行進・普天間基地包囲ヒューマンチェーンに参加して―

尼崎市立労働福祉会館並びに労働センターの存続を

武庫川ユニオン

フィデルの考察「帝国とウソ」―鳩山内閣倒壊の陰謀

富山 栄子訳

―韓国哨戒艦「沈没事件」について―

階級意識の再生こそ

花井 吉宅

読者からのおたより

No.1077 (二〇一〇年八月一日)

◇巻頭言◇ JR復帰の思い 若い闘争団員に託す

藤保 美年子

全面解決まであと一歩

参院選後 政治はどうなる

滝野 忠

大美堂労働組合解散会を行う

奥田 雅雄

―各労働組合そして大美堂労働組合員の皆様へ―

印刷労働現場の長時間労働と労災死亡事故

民主党”分解”の可能性

―参院選 各党の動向―

教師になれない

―ニューヨークタイムズ 二〇一〇年五月一九日付電子版―

読者からのおたより

No.1078 (二〇一〇年八月一日)

◇巻頭言◇ 焦点は労働者意識

滝野 忠

―参院選挙総括への視点―

臨時国会 開会 ―日本の政治はどこへいく―

◇資料◇ 参院選 原選挙 (「新社会党兵庫」七月二七日)

厳しい結果から目を背けず課題を明確に

競争、競争、競争に勝つ ―日本経団連総会から―

電電公社ⅡNTTと国鉄闘争 ―初心を忘れない―

ヨーロッパですすむ「かれん誅求」

―菅「消費税増税」もこの一環―

読者からのおたより

No.1079 (二〇一〇年九月一日)

◇巻頭言◇ 雇用・失業問題への基本視点

滝野 忠

恐慌へ

クルーグマン

市長は謝罪と反省を 開港四年「神戸空港」

―関西三空港問題で質疑(神戸市議 あわはら富夫)―

「社会的労働運動」強調の背後で

―労働組合大会の諸特徴(二)―

「ゆうパック維新」顛末記

階級意識の覚醒 ―「通信」第一〇七四号を読む―

自民党に「日本の伝統と文化」口にする資格なし

研修生時代の残業代を支払え!

スクラムユニオン広島

―中国からの実習生が提訴―

山下 けいき

読者からのおたより

No. 1080 (二〇一〇年九月十五日)

◇巻頭言◇ ふえ続ける失業、不安定雇用
雇用・失業問題への基本視点(二)
膨れ上がる利益と細る雇用

滝野 忠
ニューヨーク・タイムズ論壇

―もはや企業の利益増大は雇用増にはつながらない―
安心して子どもが産みたい ―非常勤講師の実態と教育職場―
仕事のくびきから解放されて

美佐田 和之

―学校の常識は社会の非常識―

権力抗争はじまった民主党

編集部

古典はおもしろい 私の読書

やっぱり企業主義への埋没だ ―「社会的労働運動」強調の背後で(二)―
読者からのおたより

No. 1081 (二〇一〇年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 政治反動は国鉄「分割民営化」とともに始まった

―二三年の闘いの意味を政治面から考えてみる―

権力闘争激化は必至

伊勢 太郎

―民主党「分解」も―

暗くなるばかりのアメリカ

ポール・クルーグマン

課題と論議 ―組合大会の特徴(三)―

新風を呼び込む組合活動

黒崎 隆雄

―総評解散・連合結成から二〇年(上)―

読者からのおたより

No. 1082 (二〇一〇年一〇月十五日)

◇巻頭言◇ 被害・危険に 恒久的運動を継続

浅野 太三

―「横田基地」と対峙する恒常的団体めざし「なくす会」設立―

「仕事としての学習」

編集部

―キューバの「合理化」―

科学的社会主義”三つの任務”

滝野 忠

―三池闘争五〇年と向坂教室の根本―

課題 そして討論 ―組合大会の特徴(四)―

ユニオン運動の形成と発展

黒崎 隆雄

―総評解散・連合結成から二〇年(下)―

「民主は綱領つくれ」 ―連合会長の素人発言―

読者からのおたより

創刊三十三周年 原稿 寄せて

国鉄団結まつり

日時 十月二十四日(日) 午前十時～十五時

場所 亀戸中央公園(B地区)

No. 1083 (二〇一〇年一月一日)

◇巻頭言◇ 社会通信「創刊」の頃

滝野 忠

人と思ひ出

◇資料『社会通信』創刊号「巻頭言」◇

創刊にあたって

「失業解明」の功績はマルクスだ

— ノーベル経済学賞の虚構 —

今こそ、労働者思想の学習を！

— 『国労反合理化の闘いに寄す』を学ぶ —

これからの学習会への想い

新たな地区労働の創造 その力で、憲法を生活に

宇都宮地区労働

— 第31回 全国地区労交流会「徳島開催！」 —

「ワークシェアリング」から「賃金シェア」？

大企業は政府・国家に協力要請

— 強まる国家独占資本主義体制 —

読者からのおたより

編集部だより

No. 1084 (二〇一〇年一月十五日)

◇巻頭言◇ 政界再編 中央から地方へ

滝野 忠

二〇一一年統一地方選の意義

「時は金なり」

伊勢 太郎

— 「成田、羽田」戦争 —

見果てぬ夢で終わらせない

花井 吉宅

— 『通信』三十三周年に寄せて —

マスコミは「マスゴミ」へ

山下 けいき

— 事実を見抜く力を研ぎ澄ます —

不況により貧困率はこの一五年間で最高に

ニューヨーク・タイムス

— 米国労働者階級の生活状態 —

どうなる郵政期間雇用社員の正社員化

川越 克巳

— 十月末からいよいよ合格通知 —

「日本年金機構に秋はこない」

国際情勢 — 三つの包囲網

— 北朝鮮、イラン、そして人民元 —

◇資料 第三回ねんきん機構労組大会「委員長あいさつ」

「組織の確立」から「運動の確立」へ

読者からのおたより

No.1085 (二〇一〇年二月一日)

◇巻頭言◇ 尼崎市のシンボル労働福祉会館を潰さないで

存続を求める会

― 武庫川ユニオンからの訴え―

初心に帰った秋晴れの一日

森 勉

― シンポジウム「三池争議と向坂逸郎」に参加して―

民主、共和のイデオロギー対立激化

編集部

― 米中間選挙の結果とアメリカ政治―

コミュニテイ・ユニオン全国交流集会(霧島)に参加して

― 多くの人たちの話を聞き、刺激―

「第二次中期賃金方針」

― 私鉄職場の実態―

◇資料1 私鉄新聞「相鉄版」、一〇年九月三〇日付

第二次中期賃金方針―委員長あいさつ

◇資料2 「京和」(京成労組機関紙)から

成田スカイアクセス開業で

さらなる不安が・・・後期高齢者医療制度見直し！

二週間ストライキ打ち抜く

― スクラムユニオン・ひろしま「高陽分会」―

読者からのおたより

No.1086 (二〇一〇年二月一日)

◇巻頭言◇ 国鉄分割民営化、社会保険庁解体、道州制

年金機構労働者

賃金減少の上いく組合闘争力の減退

編集部

― 二〇一一年春闘の特徴―

世界経済混乱続く 激動の兆し

橘 幸英

英国の浅はかな歳出削減

ニューヨークタイムズ社説

教育改革で、窒息寸前の学校

高田 功

国家、そして帝国主義の時代と自由主義―編集部だより

こんな学習会やっています

― 第二十六次労働大学峡東講座から―

読者からのおたより